

ラダーレベル	研修名	日程 方法	講師	研修目的・目標		研修プログラム概要
ラダーⅡ	看護展開研修【2】	9月 講義・演習	教育委員会	目的	患者の症状から疾患や病態を予測し適切な観察、アセスメント、対応ができる能力を養う	・脳神経系・呼吸器系・循環器系のフィジカルイクザミネーションに関するシミュレーションの実施 ・評価票を用いたデブリーフィング・チェックバックによる個人評価
				目標	1. 患者の状態変化に気付き、必要な客観的情報を収集できる 2. 収集したデータに基づき、患者の状態をアセスメントできる 3. アセスメントから必要な対応を導き出し、行動できる 4. 演習を振り返り、自己の状況判断や行動が適切であったかを評価できる	
	看護基礎技術 研修【2】	10月 講義・演習	部署長	目的	急変時における看護師としての役割を理解し、適切に急変対応ができる能力を養う	・急変時におけるフィジカルアセスメントの実際 ・急変時におけるチームワーク及びリーダー、リーダー・メンバーの役割について ・救急蘇生法の実際
				目標	1. 急変時におけるフィジカルアセスメントを学ぶ 2. 急変時におけるチームリーダーとしての役割、チームメンバーとしての役割を学ぶ 3. 救急蘇生法ができる	
	看護倫理研修【2】	7月 講義・演習	緩和ケア 認定看護師	目的	看護実践を通して、指導を受けながら倫理的問題に気づき、課題を見出すことができる	・倫理原則に基づき、事例を通じて看護における倫理の振り返り （事例検討、グループワーク）
				目標	1. 医療における倫理原則、臨床倫理、看護倫理について理解できる 2. 事例検討をとおして、患者及び家族の立場に立った倫理的配慮について考えることができる	
	医療安全研修【2】	12月 講義・演習	医療安全 管理者	目的	医療安全の視点から自己の行動を分析し、課題を見出すことができる	・インシデントに対する情報収集方法及び分析手法の理解 ・自己のインシデント分析と再発防止策の検討
				目標	1. 自分のインシデント分析を行い再発防止対策を考えられる 2. 医療安全に役立つ情報収集と分析方法を学ぶ	
	感染管理研修【2】	5月 講義・演習	感染管理 認定看護師	目的	医療関連感染防止について理解する	・事例から学ぶ感染防止対策 ①CVカテーテル挿入中患者の感染防止 ②尿道留置カテーテル挿入中患者の感染防止
				目標	1. 日々の看護場面に照らし合わせて感染対策について考え、実践することができる 患者の状況から感染リスクをアセスメントし予防策を実践できる	
	マネジメント研修【1】	6月	部署長	目的	チームメンバーとしての役割を理解し、自分の持てる力を十分に発揮しながらチームの一員として行動できる	・看護現場におけるメンバーシップとは ・チームワークを促進する雰囲気づくり ・メンバーシップを高めるための心構えと行動 ・メンバーシップとリーダーシップの共通点
				目標	1. メンバーシップについて理解できる 2. 組織の中で、チームメンバーの役割を果たすことができる	
レベルⅡスキルアップ研修 全体目標：観察力と判断力を養い、適切な看護援助を実践できる						
摂食ケア (e-ラーニング)	4月～12月	e-ラーニング 講師	目的	1. 摂食・嚥下機能障害が及ぼす問題と看護の役割が理解できる 2. 摂食・嚥下障害患者の基本的なアセスメントの視点が分かり、誤嚥・窒息予防への対応ができる	認定看護師による講義動画視聴と理解度テスト 1. 摂食・嚥下障害看護の基本 （看護の役割・口腔ケア・フィジカルアセスメント・嚥下のメカニズム） 2. 食事場面のリスクと援助について	
			目標	1. 摂食・嚥下リハビリテーション看護の意義・役割について理解できる 2. 誤嚥の徴候について理解でき、看護援助できる		
血糖管理ケア (e-ラーニング)			目的	1. 様々な疾患・病態・治療・ライフステージに起因して起こる糖代謝の変化について、アセスメントできる力を習得できる 2. 全身状態の回復を促進するための適正な血糖管理について理解できる	認定看護師による講義動画視聴と理解度テスト 1. 糖代謝に影響を及ぼす要因 2. ライフステージやあらゆる場面における適切な血糖管理について	
			目標	1. 血糖調節機能障害をもつ患者の生活者と捉えた包括的なアセスメント視点が分かる 適正な血糖管理を行うための、基本的知識を身につける 2.		
スキんケア2－1	5月 講義・演習	緩和ケア認定 看護師	目的	1. 褥瘡のアセスメントを行い、褥瘡対策マニュアルに沿って看護展開ができる 2. 褥瘡の状態をアセスメントすることができる	1. DESIGN-Rの項目とそれぞれの評価基準について 2. 褥瘡評価シートの記入方法を事例から学ぶ（グループワーク）	
			目標	1. 褥瘡に対する診療計画書を正しく入力することができる 2. 褥瘡評価シート（DESIGN-R2020）への記載が正確にできる		
スキんケア2－2 (e-ラーニング)	9月～12月	e-ラーニング 講師	目的	発生した褥瘡の局所治療（ケア）方法を理解することができる	認定看護師による講義動画視聴と理解度テスト 1. 創傷治癒過程 2. 軟膏の基剤と主剤について 3. DESIGN-Rに沿った治療戦略 4. 創傷被覆材の使用方法和使用上の注意	
			目標	1. 褥瘡の変化を基にケアの妥当性を評価できる 2. 個別性を踏まえた褥瘡ケアが展開できる 3. 褥瘡ケアにおいて部署内の褥瘡リンクナースと協同して看護実践ができる		